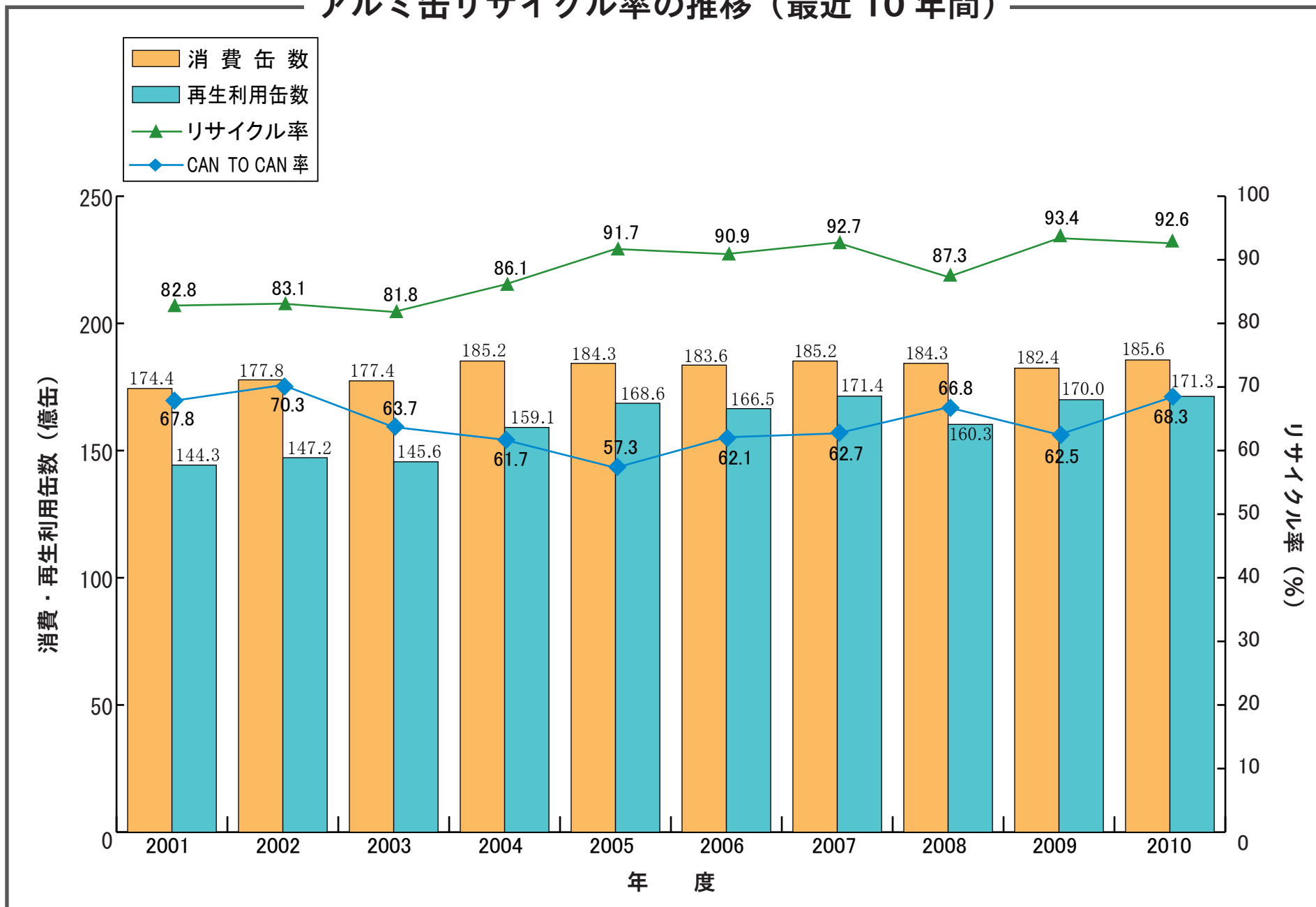


アルミ缶リサイクル率の推移（最近 10 年間）



注) 1. リサイクル率は、再生利用重量と消費重量の比較です。

2. CAN TO CAN 率は、再生利用されたアルミ缶のうち、再びアルミ缶として生産された割合です。